

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道八雲町 八雲総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	-	ド透I未	救臨感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
14,779	23,850	-	第1種該当	10:1

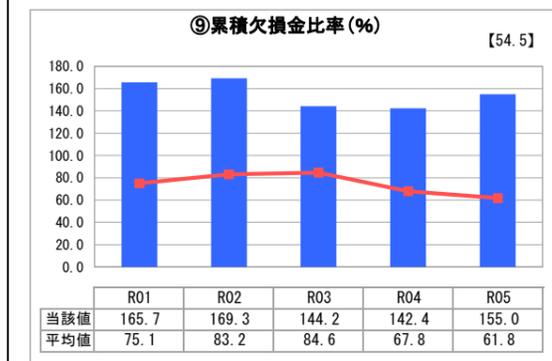
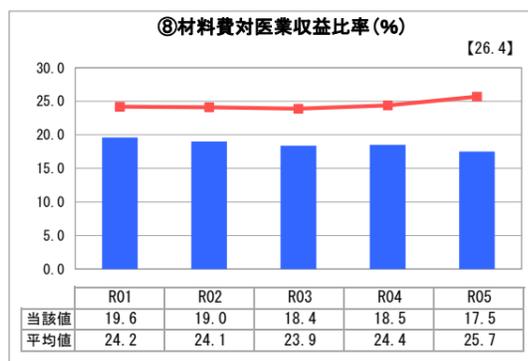
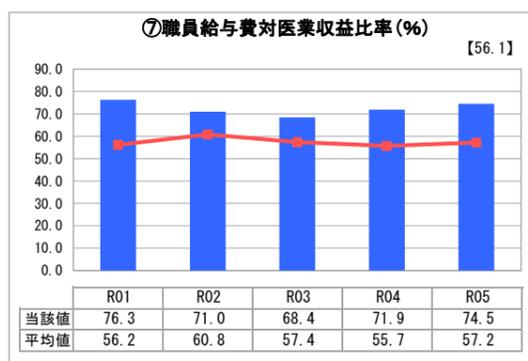
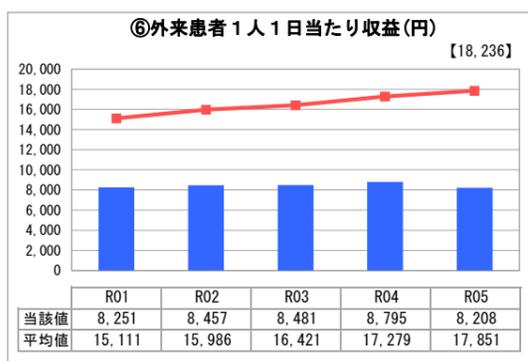
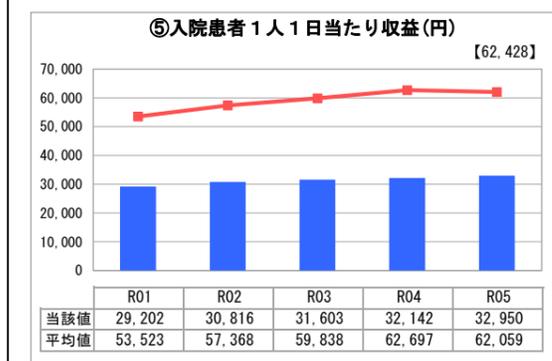
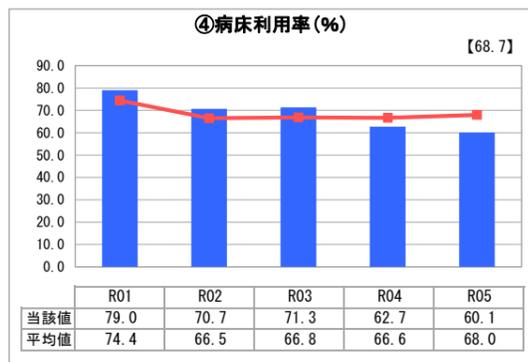
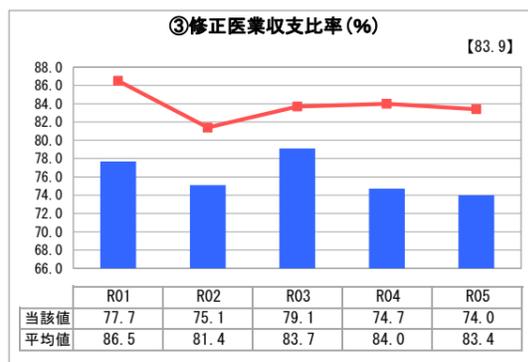
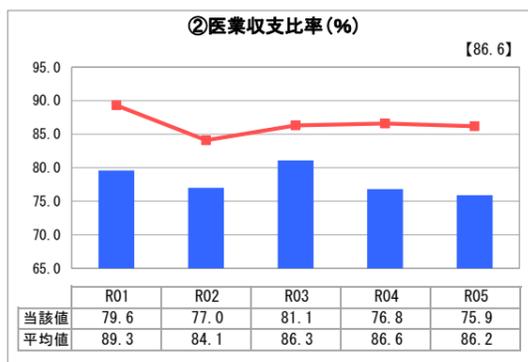
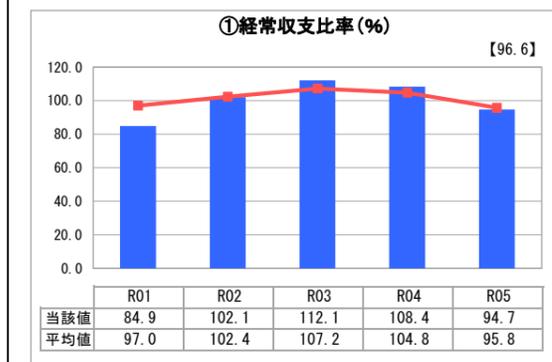
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

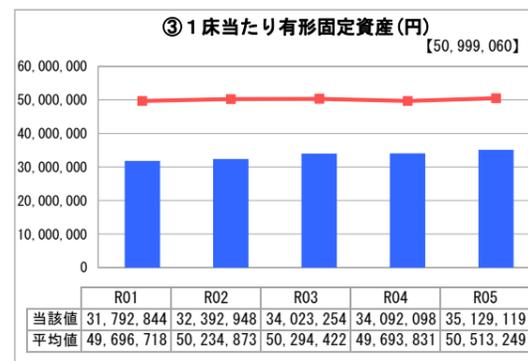
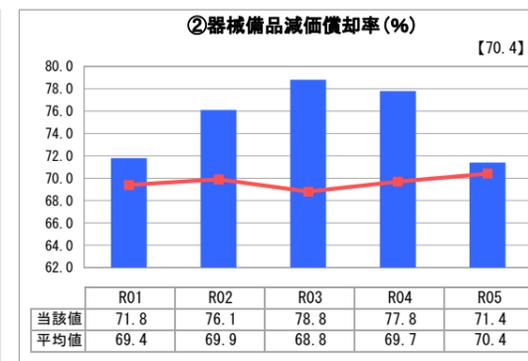
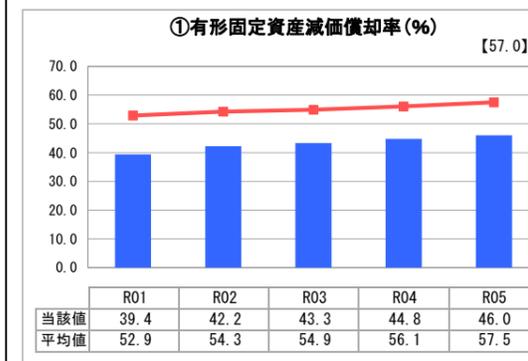
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
183	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	4	327
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
122	38	160

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、北渡島檜山圏域の地域センター病院として、圏域住民が良質な医療を安定して受け続けられるよう、救急医療をはじめ地域に不足する医療や、災害拠点病院、圏域内唯一の地域周産期母子医療センターなど展開しており、公的病院としての責務を担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①新型コロナウイルス感染症関連の補助金が減額し、赤字となった。
- ②外来患者数は一定程度維持しつつも、入院患者の減少により医業収益は悪化している。
- ③上記②に加え、他会計繰入金に依存した経営構造となっている。
- ④精神科患者の短期入院・在宅移行推進により入院患者が減少している。
- ⑤日当円が低い精神科患者が多いことに加え、急性期治療が減少しており、類似団体平均を下回っている。
- ⑥慢性疾患患者が多く、類似団体平均を下回っている。
- ⑦常勤医師を確保できず、非常勤医師に対応することにより賃金が高額となり比率を引き上げ、類似団体平均を上回っている。
- ⑧類似団体平均を下回っているが、急性期医療の減少が影響している。
- ⑨慢性的な赤字体質に加え、過去の医師退職等による減収により累積欠損金が大きく増加し、類似団体平均も大きく上回っている。

2. 老朽化の状況について

- ①平成27年度の本館棟建替えから年数が経ち、少しずつ償却率は上昇している。
- ②平成27年度の本館棟建替えの際に更新した機器が多いことから、償却率が類似団体平均を上回っている。
- ③類似団体平均を下回り、適正な投資であるといえる。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いても入院患者数が回復せず、人件費や物価の高騰に伴う経費の増加もあり、厳しい経営状況にある。一般会計からの繰入金により経営が維持されている状況であり、「八雲総合病院経営強化プラン」を念頭に、持続可能な地域医療提供体制の確保を進めるべく、より一層の効率的な病院経営と経営健全化の早期達成に向けて引き続き努力する。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。